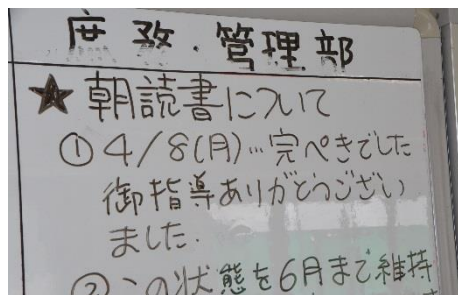


# えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

## 順調なスタートを切りました



副校長先生が気づいたこと、先生方に確認してほしいことを毎朝職員室のホワイトボードに書いています。

実はちょっと心配していた朝読書ですが、まずは順調なスタートを切ったようです。私もこの日、各教室を回ってみましたが、立ち歩く人もなく、皆静かに集中して本と向き合っていたようです。1年生はまだ本を準備できずに教科書を読んでいた人もいましたが、あせらずしっかりと本を選んで、ぜひ最後まで読みきってほしいと思います。

読書の効用についてはここで紹介するまでもなく、様々な教育効果をもたらしますが、私なりに「これだ!」というものを紹介したいと思います。

### 1 人の気持ちが変わるようになる

本(特に小説の類)を読んでいると、自分が体験したことがない場面にたくさん出くわします。必然的に『この後いったいどうなるのだろうか』とか、『この人はどんな反応をするのだろうか』と想像することになります。つまり本を読むことで、人間関係が広がることと同じ体験ができるのです。

### 2 旅行気分になれる



本は、自分が行ったことがない未知の世界へと誘ってくれます。それは外国であったり、まったく空想の世界であったりします。本を読むことは、見聞を広め、世界をより正しい目で見える力を養います。

以上、まずは二つ紹介しました。残りは全校朝会等で追々紹介していきます。本は人生を必ず豊かにしてくれます。朝読書にしっかりと取り組み、ぜひ本をたくさん読んでいきましょう。

## 素晴らしい歓迎に大感!



胆沢中学校に赴任して、まず感動したのは校舎が新しくとてもきれいなことでした。まだ出来て2年だからきれいなのは当たり前なのかもしれませんが、私が見て回った限りでは傷や落書きの類は見当たらず、とても大切に校舎を使っていることが良く伝わってきました。

その次の感動は、新任の先生方の机の上に飾られていた見事な作品でした。どれも皆素晴らしい出来栄で、手にとってしばし見とれてしまったほどでした。これらの作品は創作部の皆さんが作ってくれたものです。もう少ししたら、すべての作品を展示しますので、生徒の皆さんもこの作品の素晴らしさをぜひ堪能して欲しいと思います。創作部のこれからの活躍がとても楽しみです。

三つ目の感動が、献身的に働く先生方の姿でした。年度初めはどこも多忙を極めるものですが、てきぱきと仕事を進め、4月の順調なスタートを見事に演出してくれました。しかしながら、働き方改革にもしっかりと取り組んでいきたいと思っているところです。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

☆1学年の担任は、なんと3人が新任の先生です。不慣れな中、しっかりと準備を進めていただきました。



～非公開ページ～